

2020年12月18日
自然・生活環境部会

令和2年度(2020年)第7回部会

日時:12月18日(月)18:30 ~

場所:西部公民館 大ホール

議事:

- 1、第6回運営委員会の報告 概要は別紙を参照下さい。
- 2、前回部会時、今後の活動方向について出された意見をまとめた結果です。
 - ①北国街道を再度散策してみる。ただし、往路は散策、復路は18号沿いのごみ拾いなどの行事で。
 - ②西部地域の水路散策を通じ平安条里制からの変遷を学ぶ。
 - ③山城山系とのコラボによる啓蒙活動。
 - ④地域の歴史・文化スポットの探索(探求)
 - ⑤西部地域のフットパス(トレッキングコースや遊歩道など)の構想づくり。
 - ⑥地域の生物・植物の探索および啓蒙活動。広く住民を巻き込む方法で。
 - ⑦字界地図を参考にした地域の成り立ちの研究。

この中から皆さんが参加できる項目を選んでいただき、そのメンバーで今後活動をしていただきたい。活動内容は、写真あるいは動画とともに記事にして、投稿していただきたい。

活動は、各グループで日程を決めて行ってください。

部会時は投稿されたものを見ながら説明を受ける形をとっていきたいと思います。

春夏秋冬の様子も捉えることで、変化の様子がわかるかとおもいます。

3、部会開催予定日

第7回	12月18日(金)18:30~	大ホール
第8回	1月29日(金)18:30~	大ホール
第9回	2月19日(金)18:30~	大ホール
第10回	3月19日(金)18:30~	大ホール

令和2年度・第6回運営委員会(報告)

進行(平石副会長)

1. 開会のことば 平石副会長
2. あいさつ 藤作会長
3. 議 事 議長：藤作会長

3.1 部会に関すること

(1)部会報告・・・(別紙参照) p3～p6

(2)各部会活動について (三役会からの提案)・・・ 藤作会長

①自然・生活環境部会

2項について

- ・次回からグループ分けをして取組んで行く内容については、次年度以降の計画(短・中・長期)に位置付けて取組んで下さい。研究を現在の生活(環境面等)と関係付けた内容に。
- ・残された(12～3月)の部会では、当初の取組んでいる歴史・文化スポットを形にして下さい。部会で撮影した写真(812枚)を選択して解説を加え(すでに58枚は完成)完成している58枚の再点検を含めて、順路(町歩きに便利な)を工夫したものに編集してください。デジタル化は次年度に。

②防犯・防災部会

- ・西部地域版避難所運営マニュアル・防災パンフレットの原案づくりを今年度中に。

③IT担当者部会

- ・ハザードマップ、救助マップを完成させる。活用方法は、防災・防犯部会で検討ください。
- ・緑が丘自治会では、防災マップをPDFに落としてQRコード化し携帯電話で見る事を(緊急時に対応)アナハイムに相談しているが、部会全体として取り組みは可能なのか。

④子育て・教育部会

- ・HPについては、事務局で運用全体の見直し(ぶらりネットとの兼ね合いをどうするのか、新たに専用サイトを作るか)について検討中です。
- ・入学の手作りグッズ作り講習会について(1月23日と聞いているが)早めのチラシ作り参加者の募集・集約をして下さい。
(注)決定
- ・事業計画の中で通学時の見守り、あいさつ運動の取組みを上げているが、どのような形で行うのか具体的に。

⑤福祉・高齢者部会

- ・歌声喫茶等の大勢が集まる行事を開催することが出来ませんでした。次年度には開催出来るように計画してください。

3.2 全体に関する事

a. まちづくり計画の策定について

◎各部会から提出された短・中・長期計画の内容の検討

・短・中・長期の取組み

⇒ 他の部会の内容にも目を通して再確認してください。

(あくまでも計画ですので今後変更は可能です)

・「取組めそうな事」の内容確認

⇒ ○◇は、無視してすべての内容を添削・削除・追加・訂正 等確認下さい。

≪全体≫

目次 はじめに・・・

1. 地域の概要 (1)地域の特徴 (2)人口と世帯数 (3)年齢階層別人口
(4)人口と世帯数の推移

2. 地域の将来像

3. 分野別の課題と事業計画

(1)自然・生活環境分野 (2)防犯・防災分野 (3)子育て・教育分野

(4)福祉・高齢者分野 (5)IT分野

4. 資料 (各自治会に調査依頼済)

(1)歴史的、文化遺産 (2)伝統的行事 (3)災害用備蓄資材・備品

(4)公園、遊園地、広場、イベント会場 (5)公共施設 (6)福祉関係の施設

(7)子育て教育関係の施設 (8)その他

b、第3号 西部地域まちづくり通信 (A4版8枚) について ⇒ 各部会とも準備下さい
3月に発刊できるように準備 (紙面割りについては事務局で検討中)

①はじめに + 写真 (全体行事に関するものに)

②部会の紹介 (各部会はA4のスペースに活動報告、活動計画、写真(紙面は白黒))

③お知らせ、会員 (スタッフ) の募集、編集後記、その他

c、来年度の事業・予算計画案 ⇒ 2月中に提出下さい

(内容は5回運営委員会にて報告済み)

d、記念イベント終了 12月13日(日) 10:00~11:35 40名参加

準備から片づけまでご協力ありがとうございました。当日の様子は動画で見られるように編集中です。

3.3 その他 (連絡・報告)

・部会員の任期は、『令和3年の4月に開催する総会までお願いします。』なお
団体のお役を降りる方でも継続できる方は、個人の資格で参加をお願いします。

・部会長は、次年度の部会開催日を本日調整しますので、残ってください。

4. 閉会のことば

宮下副会長

次回 第7回運営委員会 令和3年1月21日(木) 19:00~

西部地域まちづくりの会 部会報告書

自然・生活環境部会

部会長： 春原秀夫

日時	2020年11月20日（月）18:30～20:30		
出席人数	16/21名	場所	西部公民館 大ホール

議事内容

1、第4回運営委員会の報告

2、まちづくりの会および自然・生活環境部会の理念と今後の部会の活動方向について意見交換。出された意見をまとめてみると以下のようにまとめることができるか？

- ① 北国街道を再度散策してみる。ただし、往路は散策、復路は18号沿いのごみ拾いなどの行事で。
- ② 西部地域の水路探索を通じ平安条里制からの変遷を学ぶ。
- ③ 山城山系とのコラボによる啓蒙活動。
- ④ 地域の歴史・文化スポットの探索（探求）
- ⑤ 西部地域のフットパス（トレッキングコースや遊歩道など）の構想づくり。
- ⑥ 地域の生物・植物の探索および啓蒙活動。広く住民を巻き込む方法で。
- ⑦ 字界地図を参考にした地域の成り立ちの研究。

次の部会で、上記出された項目の中から、自分が興味を持って活動してみようと思う項目を選んでもらい、グループ分けを行い、活動をしていく。

これにより、事業計画の修正を行っていく。

次回部会の予定

12月18日（金）18:30～ 大ホール

その他の要望

部会記録として、ビデオで撮影する。（ビデオカメラ、三脚）

投稿記録の確認（プロジェクター、モデム）

を用意する

日 時	令和2年11月20日	場 所	第5学習室&まちづくり拠点室
出席人数	11 / 16		

・ 内容

1. 第5回運営委員会の報告

2. 短期・中期・長期の事業計画について

- ・別添の事業計画案にて概ね了承

- ・項目2について、「維持管理」を追加し、消防関係者との打合せが必要

- ・項目5について、「原信」と災害時の駐車場の確保を交渉しようとしているが、塩尻地区と「やおふく」との「災害時一時避難場所として店舗施設利用に関する確認書」を上塩尻の滝沢会長から入手したので、これを参考に交渉をしていきたい。併せて、ニチイケアセンターとの連携も進めていきたい。

- ・救助マップ等の情報の公開に当たっては、セキュリティ対策はどうなっているのか不安がある。アナハイム（株）に確認する必要がある。

- ・項目7について、IT部会は、ハザードマップと救助マップが完成すれば、一段落となる。部会のあり方を含め、今後の課題・目標、方向性や進め方について検討が必要。

IT担当者交替の場合 → 名は確認

3. (西部・塩尻地区) 避難所運営マニュアル(案)について

- ・平成25年の西部地域協議会にて、「たたき台」として作成されたもので、館長及び中部氏から入手。

- ・データでも頂いているので、中の数字や未入力の数字などを入力・更新し、コロナウィルス感染症対策を追加し完成していきたい。

4. 防災計画について

- ・危機管理課に問い合わせたが、各地域や自治会により事情が異なるため、「ひな形」は無いとのこと。

- ・上田市から配布された「自主防災組織活動マニュアル」や、中部氏より入手した「川辺町自治会の災害時対応マニュアル」を参考に、自分達で作成するしかない。

・ 次回部会の予定

令和2年12月22日(火) 午後6:30～ 第5学習室&活動拠点室

・ その他要望

特に無し

部会報告書

[子育て・教育] 部会

部会長 向山節子

日時	令和2年11月18日 19時～	場所	多目的ホール
出席人数	12/16		

内 容

- ① 運営委員会の報告
- ② 今後の予定→12/5(土) 10:00～12:00 <小物作り> 3保育園から各々参加
- ③ 話し合い
令和3.1.23(土) 10:00～12:00 <入学前のグッズ作り>
13:00～15:00

イ、講演会「冒険遊び場 プレーパークを知ってみよう」11/15(日)の総括

- ・申し込みについて（インターネット上での申し込みについても検討）
- ・チラシの配布先については、地域の方々にも配ったほうが良いのでは…。
- ・集客をどうするべきか（少なかった）→ただしコロナ禍での集客は難しい
→講演会の内容はタイムリーな物に…。

<講演会の内容についてはまとめ中>

ロ、情報発信事業について

- ・今のHPでは活用がなされていない→活用の工夫を…。
- ・子ども達に関わる内容なので西部地域の「児童館」等も入れてみては…。

ハ、課題について

- ・今求められているものは何か→PTAからの情報を集めたり、PTA役員や校長等から意見をいただく。
- ・その他…この部会の取組やまちづくりの取組や交付金の使途等について意見が出されました。今後必要に応じて話し合いたいと思います。

(次回の部会)

- ・日時…12月16日(水) 19:00～
- ・場所…多目的ホール
- ・内容…運営委員会の報告
 - ・チームごとに別れての話し合い→各チームの報告(全体の物に)
 - 連絡等(今後の予定も)
 - *まちづくり通信の原稿(活動報告・写真・活動計画)の提出(1月中)
 - *令和3年度の事業・予算計画(案)の提出(2月中)…60万円

部会報告書

【 福祉・高齢者 】 部会

部会長： 横関妙子

日時	令和2年11月13日(金) 18:30~19:50	場所	大ホール
出席者	横関、藤作、千野、黒澤、宮本、町田、田畑、足立、佐藤(祥)、 地域包括：清水さん、社協：永井さん		

・内 容

1. 部会長挨拶

2. 運営委員会報告(11月12日)

3. 会議事項

(1) 寝たきりにならない体操実施後の反省・感想

- ・開催する曜日について・・・自治会の行事と重なってしまい参加できない時があるが？
→A：西部公民館の利用率が高く月曜日が比較的に開いているのが現実です。その空いている日に設定せざるを得ない状況に有ります。また午後は鷺巣先生の都合もあり午前中としています。

(2) 「みんなの塩田食堂」視察の感想と講演会に参加しての感想

- ・視察研修を受けてまちづくりの会でも実施する計画あるのか →A：今の所考えていません
- ・実施するにも手伝いが大変で有ると感じた。塩田は長野大学が近くに有るので学生に参加して頂きやすいのではないか。
- ・場所については、公民館以外にも遊ぶ場所が近くにあり良い環境にある。
- ・みんなの塩田食堂は良いことだと感じた。西部でも実施で来たら良いのだが。
- ・始める時(立ち上げ時)に公民館が大きく関わってくれた事が大きいと感じた。
- ・まちづくりの会が行うとなると負担になる可能性有る。他団体の中に一緒になって進めることは良いとは感じる。しかし課題が多い。
- ・「子ども食堂」と言うとイコール「子どもの貧困」になってしまう感が有り違和感がある。
- ・「子ども食堂」でなく「みんなの塩田食堂」と言う名前には共感が持てる。
- ・社協の永井さんから「子ども食堂の活動について」の資料の説明を受けた。
- ・「子ども食堂」の言葉のイメージが良くない。貧困を救済するためのものばかりになる。「みんなの食堂」となると子どもだけでなく他の人も来て頂けて良いのでは。

(3) まちづくり計画(短・中・長)を審議し決定した(別紙あり)

(4) その他

- ・来年の3月31日で「ニチイ」が西部包括センターの業務から撤退する。

4. 次回部会の予定

12月18日(金) 18:30 第5学習室+まちづくり拠点室

- ①寝たきりにならない体操感想と今後に向けて
- ②次年度事業計画について

会議日程 (西部地域まちづくりの会)

- A. 大ホール
- B. 多目的ホール
- C. 第五拠点室

令和3	三役会	運営委員会	部 会					
			自然生活環境	防犯防災	子育て教育	福祉高齢者	工 丁	
4	9 (金)	15 (木)	19 (月)	20 (火)	21 (水)	16 (金)		
5	7 (金)	13 (木)	17 (月)	18 (火)	19 (水)	14 (金)		
6	4 (金)	17 (木)	21 (月)	22 (火)	23 (水)	18 (金)		
7	2 (金)	15 (木)	21 (水)	20 (火)	23 (金)	16 (金)		
8	6 (金)	19 (木)	23 (月)	24 (火)	25 (水)	20 (金)		
9	3 (金)	16 (木)	22 (水)	21 (火)	24 (金)	17 (金)		
10	1 (金)	14 (木)	18 (月)	19 (火)	20 (水)	15 (金)		
11	5 (金)	18 (木)	24 (水)	22 (月)	26 (金)	19 (金)		
12	3 (金)	16 (木)	20 (月)	21 (火)	22 (水)	17 (金)		
1	↑ 16:00 ↓ 18:00	↑ 19:00 ↓ 21:00	A. 大ホール				C. 第五拠点室 18:30 ~ 21:00	
2	第五 + 拠点室	第五 + 拠点室						
3								
4								
4/23 (金) 総会 大ホール 18:00 ~ 21:00								

4/23 (金) 総会

自然・生活環境部会 部会員連絡名簿

No.	氏名	自治会等	住所	TEL	FAX	MOBILE	Mail Address
1	飯高 綾	長野大学	上田市常磐城6-2-12			080-2394-7430	j19004ai@stu.nagano.ac.jp
2	小川幹雄	緑が丘西	上田市緑が丘1-16-13			090-3344-3052	
3	小山智恵子	生塚	上田市常磐城4-11-15			080-2204-5089	
4	清水 洽	上塩尻	上田市上塩尻208	22-6788	22-6788	080-2247-7144	shimizu-koh@nifty.com
5	<small>シミズ ノリヒコ</small> 清水哲彦	上塩尻	上田市上塩尻454-1	22-8133			
6	白井祐介	長野大学	上田市五加1073				
7	須貝直好	新町	上田市常磐城2-6-16	23-3164		090-1866-8376	naoyosis@yahoo.co.jp
8	菅沼性一	上塩尻	上田市上塩尻117	22-1934		090-7177-4488	ssuga1117@ueda.ne.jp
9	春原秀夫	生塚	上田市常磐城4-3-14	23-7670	23-7670	090-7836-8422	sunobig1231@gmail.com
10	滝沢敏比古	上塩尻	上田市上塩尻472	23-6775		080-1240-8388	
11	竹内 充	下塩尻	上田市下塩尻816-2宮下アパート2号			090-2520-7863	takemitu326@gmail.com
12	竹内健三	下塩尻	上田市下塩尻767-5	27-5323	27-5323	090-3343-9195	
13	竹花敏郎	常磐町	上田市常磐城6-5-9	23-2640			
14	田畑裕康	緑が丘西	上田市緑が丘3-18-42	25-0669			
15	茅野孝雄	諏訪部	上田市常磐城3-11-13	22-3022		090-2235-4027	
16	中島邦夫	秋和	上田市秋和714	28-7722	28-7722	090-4397-6032	agurinet@avis.ne.jp
17	平石清一	下塩尻	上田市下塩尻513			090-2524-6275	
18	前川道博	長野大学	上田市下之郷658-1			090-2270-5074	maekawa@nagano.ac.jp
19	翠川 潔	城北	上田市緑が丘3-17-6	26-8423			
20	山崎 洋	常磐町	上田市常磐城6-16-13	27-9002		090-1112-5052	
21	依田 洋	下塩尻	上田市常磐城6-16-13				



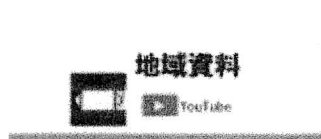
歴史文化スポット	文書記録	写真記録	気になるスポット	祭・イベント
北国街道	水路	山城山系	生物・植物	字界・地域の成り立ち
ゆうすげと蝶の里	花いっぱいの会	フットパス企画	メンバー紹介	

検索 全件表示

おすすめ記事



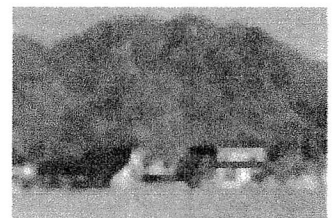
下塩尻桜づつみホテル水路



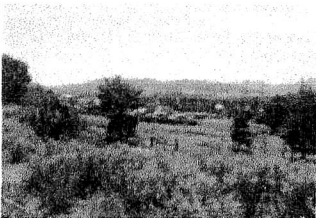
西部地域まちあるき2019の記録



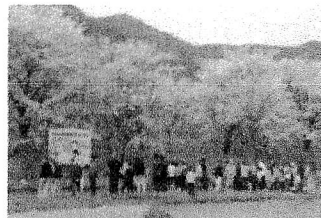
下塩尻から和合城跡・虚空蔵山方面の眺め



上塩尻から和合城跡、虚空蔵山、太郎山 方面 秋の風景



上塩尻 ゆうすげと蝶の里



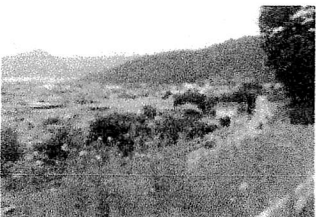
下塩尻桜づつみホテル水路 ホテルの幼虫放流会



下塩尻自治会 どんど焼き (2016年1月)



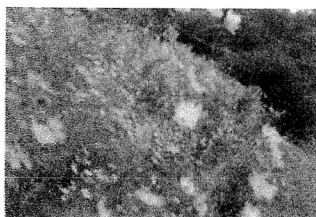
第39回塩尻どんどこ祭



生塚 花いっぱいの会 コスモス散歩



上塩尻 ゆうすげと蝶の里 2020年9月22日



生塚 花いっぱいの会 コスモス散歩 2020年10月3日



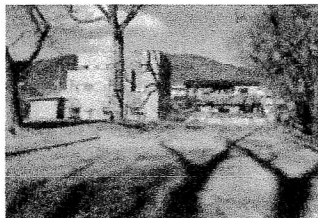
下塩尻岩鼻の幻の滝



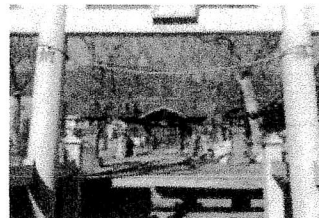
新着記事

講座等記録

YouTube



北部児童公園



八幡宮



金刀比羅神社

西部地域まちあるき2019：和田龍酒造



新屋会館



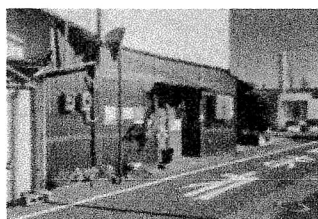
緑ヶ丘会館



緑が丘北自治会館



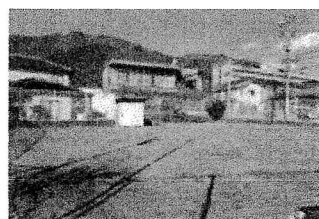
紺や



居酒屋 一八



日進堂製菓



ちょっとした広場



通学路にあったお店

- 公園(7) 西部地区(7) 自治会館(6) 文書(6) 上塩尻(6) 神社(4) お店(4) 建物(4) 歴史(4) 子ども(3) 飲食店(3) 食べ物(3) 緑ヶ丘西(3)
- 下塩尻町(3) 緑ヶ丘(3) 塩尻地区(3) まちあるき(2) 白山神社(2) 緑が丘北(2) 西部地域(2) 動画(2) お酒(2) 新町(2) 北国街道(2) 新屋(2)
- 道路(1) 八幡宮(1) 遊具(1) コスモス(1) くろつば(1) 散歩(1) 和田龍酒造(1) 旧北国街道(1) 太郎山整備(1) 集会所(1) 広場(1)
- ゲートボール場(1) お菓子(1) 製菓(1) 蕎麦(1) 児童館(1) 飲み屋(1) 居酒屋(1) 古い(1) 和食(1) 定食(1) 杏掛酒造(1) 地域(1) 酒造(1)
- 下塩尻(1) 花いっぱい(1) 花いっぱいの会(1) 秋和文庫蔵(1) 秋和(1) 蚕種製造民家(1) 古建築(1) 建築(1) 文化財(1) 文庫蔵(1) 環境美化(1)
- まちづくり(1) 栄食堂(1) ご飯(1) 洋食(1) 農民美術(1) 西謠(1) 工芸(1) 公会堂(1) パン(1) ゆうすげと蝶の里(1) 市民活動(1) 熊(1)
- 白旗(1) パン屋(1) 雑居(1)



西部地域まちづくり計画 (案)

令和 3 年 4 月

西部地域まちづくりの会

はじめに

西部地域まちづくりの会は、西部地区と塩尻地区とがお互いに自治会の枠を越えて、少子高齢化に伴う諸課題解決に向けて、準備段階（平成24年～）を踏み、平成30年6月26日に上田市10番目の住民自治組織の会として誕生しました。その後4部会を中心に取り組んできました。なお、一期二年の活動を通して各種マップづくりの重要性継続性を考慮して、新たに第5部会を設立しました。部会名は以下の通りです。

第1部会－自然・生活環境部会

第2部会－防犯・防災部会

第3部会－子育て・教育部会

第4部会－福祉・高齢者部会

第5部会－IT担当者部会

各部会の取組は、一年目は学習、研究を中心にして、二年目に実践に移した部会、一年目の途中から「出来る事業から始めよう」と実践活動してきた部会等と活動内容に差はあります。そしてどの部会も一期二年の活動を通して一定の方向付けをして二期目にバトンを渡すべく活動してきました。その活動拠点は新西部公民館です。事務局も一室を借りて活動しています。これからは二期目（令和2年度・3年度）に向けて、広報活動面に力を入れて、地域住民にまちづくりの会の取組を広めていきたいと思っています。

ところで、二期目の活動に移行するにあたり今後十年間の西部地域まちづくり計画の策定に着手してきました。ところが、新型コロナウイルスの出現で予定が狂ってしまいました。ようやく検討を重ねて計画の策定ができました。この一期二年の活動を通して、① 継続していく課題 ② 新たな課題等を考慮して、その内容を短期（～3年）・中期（～5年）・長期（7年～）に分けて策定しました。今後はまちづくり全体の課題、部会の課題解決に向けて、自治連、各種団体、公民館、地域住民等の力を結集して、安全で安心、かつ活力のある生活を目指して、手作りのまちづくりの会を実践していこうと思っています。巻末に自治会ごとの各種資料を載せておきました。お互いに各自治会の様子を知っていただくと同時に、共助の際に活用していただけたらと思っています。

目 次

- | | | |
|---|--------------|----------|
| 1 | 地域の概要 | P 1～P 2 |
| | （1）地域の特徴 | |
| | （2）人口と世帯数 | |
| | （3）年齢階層別人口 | |
| | （4）西部地域人口の推移 | |
| 2 | 地域の将来像 | P 4 |
| 3 | 分野別の課題と事業計画 | P 5～P 13 |
| | （1）自然・生活環境分野 | |
| | （2）防犯・防災分野 | |
| | （3）子育て・教育分野 | |
| | （4）福祉・高齢者分野 | |
| | （5）IT分野 | |
| 4 | 資料 | P 14～ |

1 地域の概要

(1) 地域の特徴

西部地域は、上田市の西側に位置し、北に市民に親しまれ愛されている太郎山山系から、南に市の東から西に流れる千曲川まで広がる地域です。

太郎山山系の麓は、平坦地が広がり閑静な住宅地が広がるとともに、千曲川の下流域は、豊かな田園地帯とともに養蚕で栄えた頃を偲ばせる集落が形成されており、坂城町に隣接しています。

この地域の人口は、12,225人、5,630世帯（令和2年10月）で、年々減少傾向にあります。（地区別に見ると塩尻地区が多少増加）高齢化率は31.4%で、地域全体では高齢化が進んでいる地域でもあります。

交通網は、東西に古くは北国街道が、現在は、市の幹線道路として国道18号及び上田バイパスが通り、南から北へは主要地方道上田丸子線が通っています。

また、鉄道網として、地域の南側に北陸新幹線やしなの鉄道が通り、しなの鉄道の西上田駅が設置されています。

旧北国街道沿いには、歴史的な建造物が今も残り、幹線道路沿いには、飲食関連や自動車関連など様々なロードサイド店が立ち並んでいます。

さらに、商業・業務施設が集積する卸団地や食品関係などの大規模

な工場も点在する地域です。

(2) 人口と世帯数 (住民基本台帳から): 令和2年10月1日)

・西部地区及び塩尻地区+上田市全体 ・男女別 ・世帯数

(単位: 人・世帯)

		西部地区	塩尻地区	計	上田市
人口	総数	8,026	4,199	12,225	155,722
	男	3,828	2,022	5,850	76,229
	女	4,198	2,177	6,375	79,493
世帯数		3,761	1,879	5,630	68,102

(3) 年齢階層別人口 (住民基本台帳から): 令和2年10月1日)

・西部地区及び塩尻地区+上田市全体

・年少人口 (0歳~14歳)、生産年齢人口 (15歳~64歳)

・高齢人口 (65歳以上) 各構成比

(単位: 人・%)

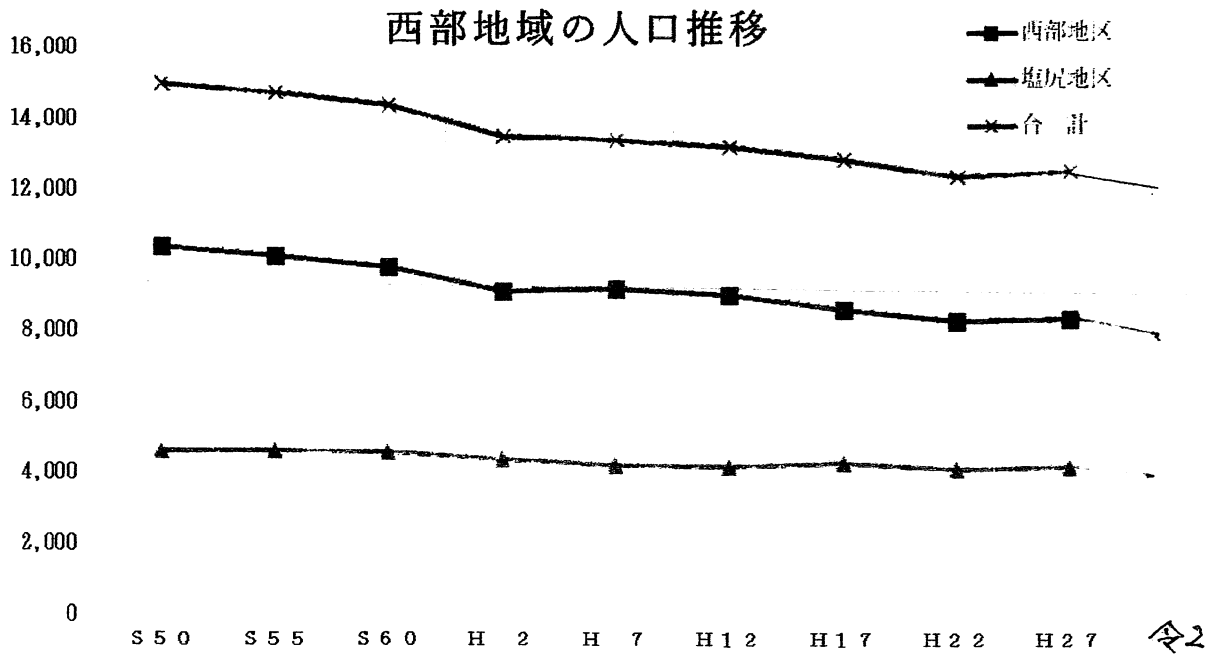
区分	西部地区	塩尻地区	計	構成比	上田市	構成比
年少人口 (0~14歳)	873	474	1,347	11.0	18,764	12.0
生産年齢人口 (15~64歳)	4,572	2,474	7,046	57.6	89,525	57.5
高齢人口 (65歳以上)	2,581	1,251	3,832	31.4	47,433	30.5
合計	8,026	4,199	12,225	100.0	155,722	100.0

(4) 西部地域人口の推移 (国勢調査)

(単位：人)

	西部地区	塩尻地区	合 計
S 5 0	10,351	4,597	14,948
S 5 5*	10,080	4,594	14,674
S 6 0	9,763	4,561	14,324
H 2	9,097	4,364	13,461
H 7	9,144	4,195	13,339
H 1 2*	8,976	4,149	13,125
H 1 7	8,562	4,237	12,799
H 2 2	8,267	4,061	12,328
H 2 7	8,324	4,157	12,481
* 令和2	8,026	4,199	12,225

* 住民基本台帳 令和2年10月1日より



2 地域の将来像

イ、少子高齢化による対策

各年齢層の居場所づくりに力を注ぎ、世代間交流をはかり、活気のある地域に。

ロ、交通網の整備対策

道路の道幅を広くしたり、道路の危険箇所を手をつけ、青バス、赤バス、オレンジバス等の巡回路線を見直し、時間帯も見直し、買い物に、病院通いに便利な地域に。

ハ、空き家、休耕田の対策

空き家を各年齢層の居場所づくりとして活用したり、広場、遊園地、休耕田等を活用して、子ども達（みんなの）の遊び場にして活気のある地域に。

ニ、伝統行事の対策

鳥追い祭り、消防団の梯子乗り、どんど焼き、道祖神、各社神社祭り等に力を入れ、世代間交流をはかり、郷土愛溢れる地域に。

ホ、螢の里、矢出沢川散歩ロード、花いっぱいさんぽ道、山城ロード等の環境対策

塩尻地区、西部地区のスポット場所としてイベント等を通して多くの人を呼び込み、この地域を良く知ってもらい、にぎやかな地域に。

ヘ、地元産業への就職対策

地元には多くの各種産業会社があるので、広範囲から情報を入手して紹介し、青年の地方離れを防止して、青年層が活躍できる地域に。

ト、北保育園の環境整備対策

現存する北保育園の環境整備に力を入れ、乳幼児教育を支え、笑い声の絶えない明るい地域に。

チ、活動拠点の西部公民館の環境整備対策

特に指定避難所として、地域の特徴を生かした設備整備を。

3 分野別の課題と事業計画

(1) 自然・生活環境分野

ア 地域づくりの方針

わら馬作りや鳥追いおんべ等の伝統文化や石碑や道祖神など歴史的な遺産を後世に伝え、太郎山や虚空蔵山、矢出沢川等の自然環境の保全や道路や河川等の環境美化を進め、住民が地域に愛着を持ち快適に暮らせる地域づくりを目指します。

イ 地域課題

【 伝統文化などの継承 】

- ・ 少子高齢化により、わら馬作りや鳥追いおんべなど地域の伝統行事の継承が難しくなっています。
- ・ 子供が少なくなり小学校の稲作作り、伝統行事への参加が大変になっています。
- ・ 石碑などの歴史的遺産を保全し、その周知や活用することが必要です。

【 公園(広場)や遊歩道などの整備・活用 】

- ・ 遊歩道やトレッキングコースなどの整備をして活用する必要があります。
- ・ 西部地域には遊園地、広場(イベント会場等)、サロン(高齢者の集う場所)等が不足しています。休耕田畑や空き家などを有効活用していく必要があります。
- ・ 塩尻地区のさくら堤蛍の里、西部地区のバイパス上の花いっぱいロードを整備してイベントを実施して、地域住民の交流の場としたい。

【 公共施設の活用 】

- ・ 地域内に多くの公共施設がありますが、知らない人がたくさんいます。各種マップづくりの中に記載して、周知徹底を図る必要があります。

【 生活環境の整備 】

- ・ 河川や道路に空き缶やビニールなどのポイ捨てが目につきます。ごみの分別にも問題があります。

ウ 地域で取り組みそうなこと

- わら馬、道祖神、どんど焼き、しめ縄など各地区の伝統行事を地図上に落とし、歴史なども記載する。
- 石碑や道祖神など歴史的な遺産や歴史について、地図上に落とし、いわれなどを記載する。
- 上記のものを次世代にアーカイブする。

◇ 矢出沢川や国道18号、18号バイパスなどの道路、遊歩道などの清掃や花などの植栽の実施。

◇ 散歩道、遊歩道、トレッキングコースなどを紹介し、イベントを実施

エ. 事業計画

事業内容	着手時期			実施主体		
	短期	中期	長期	住民組織	協働	行政
地域の歴史・文化的な遺産を画像映像としてまとめ、地域めぐりをしながら環境問題に繋げていきます。	○			○		
郷土史学習(小4~6)として実際に歩き画像に残し、学習に活用していきます。	○			○	○	
さくら堤蛍の里、バイパス花いっぱいロードの環境整備をして、イベント行事につなげ交流の輪をはかります。		○		○		○
休耕田畑、空き家を有効活用して、遊び場、イベント会場、サロン(高齢者の交流会場)としていきます。		○		○		○
地域めぐりをしながら、ごみ拾いをして環境問題を考えます。○				○		
小学生と一緒に地域めぐりをしながら、ごみの実態や危険箇所の把握をして改善出来るように要求していきます。	○			○		○
山城山系への道路の整備や、西部地域のフットパス(トレッキングコース、遊歩道など)の環境整備をしていきます。		○		○		○
西部地域の生物の実態を把握して、生物が育ちやすい環境づくりをしていきます。		○		○		

(2) 防犯・防災分野

ア 地域づくりの方針

子どもからお年寄りまで「あいさつが飛び交う地域づくり」を進めるとともに地域の防犯協会や消防団などの関係団体と連携し、地域の防犯力・防災力を高め、だれもが安全で安心して暮らせる地域づくりを目指します。

イ 地域課題

【安全対策】

- ・ 近隣のコミュニケーションが不足しています。また隣接する自治会の住民との交流も不足しています。日常の声かけが必要です。
- ・ 行政からの防犯・防災情報が、高齢者などに行き届いていません。
- ・ 緊急時の救急方法などの講習会を開催して、勉強しておく必要があります。
- ・ 地域内の道路や河川などの危険個所を点検整備する必要があります。

【防災体制】

- ・ 消火栓の位置や災害時の避難困難者の把握ができていません。また、避難困難者の救助方法や家族等への連絡方法なども確立されていません。
- ・ 地域全体での防災訓練や避難所の運営方法など学ぶ必要があります。
- ・ 消防団員のなり手が、就労環境の変化などで不足しています。

ウ 地域で取り組みそうなこと

- 防災ハザードマップの作成と活用
- 住民支え合いの体制作り

- ◇ 地域全体の防災訓練を実施
- ◇ 緊急時の対処方法の講習会を開催
- ◇ 近隣同士での声かけ（あいさつ）運動の取り組み
- ◇ 自治会の境界付近の住民の相互状況の把握について
- ◇ 隣組を中心とした情報把握や援助について
- ◇ 消防団人を確保するための方策

- ◇ 暗く危険個所への防犯灯や防犯カメラの設置

エ. 事業計画

事業内容	着手時期			実施主体		
	短期	中期	長期	住民組織	協働	行政
1. ハザードマップ・救助マップの完成	○			○		
2. ハザード&救助マップの活用と維持管理		○		○		
3. 西部公民館への備蓄品の整備		○			○	
4. 人材の確保 ①若年層 ②専門家		○		○		
5. 災害避難場所の確保と提携		○			○	
6. 支え合い活動の推進 ①各自治会に働きかける ②第4部会との連携		○		○	○	
7. 部会のIT化 (IT部会との連携)		○		○		
8. 西部地域防犯・防災の組織化			○	○		
9. 災害時避難計画の作成			○	○		
10. 避難所運営マニュアルの作成			○	○		
11. 西部地域の避難訓練の実施			○		○	

(3) 子育て・教育分野

ア 地域づくりの方針

スポーツや遊びなどを通じ、子供からお年寄りまでの世代間交流を深め、コミュニティ活動の活性化を図り、地域全体で子どもたちを育てる環境づくりに努めます。そして未来を担う子どもたちが、他人を思いやり、たくましく育つ地域づくりを目指します。

イ 地域課題

【 コミュニティ活動 】

- ・子供からお年寄りまでの世代間交流が不足しています。
- ・様々なコミュニティ活動に取り組んでいますが、周知の仕方を工夫する必要があります。

【 子どもの育成 】

- ・PTA活動など役員だけで行っており、PTA全体の活動となっていません。
- ・子どものボランティア活動の参加が少なくなっています。
- ・子どもたちと地域の結び付けを深める行事の工夫が必要です。
- ・西小学校と塩尻小学校の子どもたちの交流がほとんどありません。
- ・少子化の影響で育成会がつかれない自治会や各種行事が成り立たない自治会もあります。
- ・子どもの発達障害やいじめのまんたいについての学習機会が不足しています。
- ・こどもの遊び場が不足しています。

ウ 地域で取り組めそうなこと

- 子育てアンケート
- 西小学校と塩尻小学校の交流(意見交換など)
- 大型の紙しばい
- 入学入園等の手作りのグッズづくり

- ◇ 子どもたちとあいさつ運動の取り組み
- ◇ 子どもたちを対象にした自転車の乗り方や交通ルールの講習会の開催
(警察署と連携)
- ◇ 高齢者から子どもたちに昔の遊びを教える講座の開催
- ◇ こどもたちとお年寄りがふれあうサロンの検討
- ◇ 地域内の広場・公園などの場所や設備などを知らせる

工. 事業計画

事業内容	着手時期			実施主体		
	短期	中期	長期	住民組織	協働	行政
子どもの育成事業、地域の幼保小との連携として各種講演会・講習会を開催していきます。	○			○		
夏休みコミュニティスクールを実施して学習したり、遊んだりして異年齢の仲間との交流を深めていきます。	○				○	
西小学校と塩尻小学校との交流を西部地域運動会などの中で実施していきます。	○			○		
西部地域における子どもに関係する情報の発信をしていきます。	○			○		
入園、入学の準備の為にグッズの手づくり講座を実施していきます。	○			○		
子どもたちの遊び場づくりをしていきます。			○		○	
世代間交流（お年寄りなど）が出来る居場所づくりをしていきます。		○		○		
子ども達の通学時の見守りに協力していきます。		○		○		
子ども達とのあいさつ運動に協力していきます。	○			○		

(4) 福祉・高齢者分野

ア 地域づくりの方針

高齢者や障がい者を地域全体で助け支え合い、福祉団体や関係機関との連携を図り、だれもが健康で安心して生き生きと暮らせる地域づくりを目指します。

イ 地域課題

【福祉】

- ・高齢者、障がい者などへの 対策や支援が必要です。
- ・行事への参加や買い物に行くための交通手段がありません。
- ・困った時の相談場所、連絡先等の情報がありません。社協や地域包括センターとの連携が必要です。

【高齢者】

- ・孤立している高齢者が増えています。
- ・高齢化率が高い西部地域なので、介護予防のための健康づくりが必要です。
- ・シルバーカフェなど高齢者が気軽に集まれる所が不足しています。また、子供たちとの交流も不足しています。
- ・老人クラブなど参加者が少なく組織として成り立たなくなっています。
- ・高齢者が集う企画（特に男性の参加者）を工夫する必要があります。
- ・公民館の利用団体の中で事業内容が同一の団体との共催を考える必要があります。

ウ 地域で取り組みそうなこと

- 介護予防のための健康体操、サロン
- ◇ 公共機関や民間のサービス等をデータベース化し、会報等で知らせる。
- ◇ 地域内の遊歩道や散歩道を活用し、ウォーキングによる健康増進を図る。
- ◇ 身近なところに高齢者が気軽に立ち寄れるサロンを設けるための人材育成
- ◇ 高齢者等の移動手段の確保について、検討していく。
- ◇ 自治会、民生児童委員などの福祉関係者や地域包括センター、地区社協などの福祉団体、福祉機関等の連携を密に行う。

エ.事業計画

事業内容	着手時期			実地主体		
	短期	中期	長期	住民組織	協働	行政
歌声喫茶の開催	○			○		
寝たきりにならない体操の開催	○			○		
シルバーカフェ（対象者・内容・開催時期等の検討）		○		○		
社協、地域包括との連携により地域住民の福祉問題を考える	○				○	
男性だけが集まれる会の開催（男性の参加が少ないを受けて）	○			○		
世代間（老、幼、小、中）交流の場を検討（第3部会と一緒に）	○			○		
会報の発行と会員による行事参加への個別声かけ	○			○		
会員候補者を探し人材育成を図る（運営委員の増強）	○			○		
高齢者の災害時における避難方法（場所）について考える		○			○	
まちづくりに関係する他団体の活動を視察研修する	○			○		
年1回の催し物（サンクスコンサート等）の開催運営参加	○			○		
行事に参加できない方への方策を考える		○			○	

(5) 工下分野

・西部地域全体の白地図を基本にして、全体の課題、部会(分野別)の課題の中から出てきた項目を地図上におとし込み有効活用をしていく、そのマップづくりを担当します。

- ・各種マップづくり。
- ・毎年マップを更新したり、新たなマップづくりをしていきます。
- ・部会員は継続していきる年齢層(経験者)で構成します。

事業計画

事業内容	着手時期			実施主体		
	短期	中期	長期	住民組織	協働	行政
各種マップづくりをします	○	→				
今まで作成したマップを更新します	○					
新たなマップづくりをします		○				

資料

[自治会]

No		内 容
1、	歴史的、文化的遺産	
2、	伝統的行事、イベント	
3、	災害用備蓄資材、備品	
4、	公園、遊園地、広場 イベント会場	
5、	公共施設	
6、	福祉関係の施設	
7、	子育て教育関係 の施設	
8、	その他	